

めぐみイエス・キリスト教会

2021年6月27日(日) 第Ⅳ主日礼拝
週報「通算第563号」



2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌311「いかに恐るべき」	p. 494
【交読文】	No.8詩篇第24篇	p. 885
【賛美Ⅱ】	新聖歌108「丘に立てる荒削りの」	p. 150
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル賛美No.16「ラッパを吹き鳴らせ」	
【聖書朗読】	使徒の働き9章32節～35節(新約p. 252上段)	
【礼拝説教】	《アイネアのいやし》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所(使徒の働き9章32節～35節)

9:32 さて、ペテロがあらゆるところを巡回していたときのことであった。彼は、リダに住む聖徒たちのところにも下って行った。

9:33 そこで彼は、アイネアという名で、八年間床に横たわっている人に出会った。彼は中風であった。

9:34 ペテロは彼に言った。「アイネア、イエス・キリストがあなたを癒やしてくださいませ。立ち上がりなさい。そして自分で床を整えなさい。」すると、彼はただちに立ち上がった。

9:35 リダとシャロンに住む人々はみなアイネアを見て、主に立ち返った。

●ポイント1. シモン・ペテロによる巡回伝道とは？

※第 I コリント9章5節「使徒パウロによる提言から」(新約p.338上段)

9:5 私たちには、ほかの使徒たち、主の兄弟たちや、ケファのように、信者である妻を連れて歩く権利がないのですか。

●ポイント2. 「リダ(ルダ)」とは？

■**ルダ(Ludda)** ヨッパ(現在のテル・アビブ)の南東約18キロにあり、シャロン平野とアヤロン峡谷との境にある町。旧約名はロデ。現在はルドと呼ばれる。シモン・ペテロが巡回伝道中に訪れ、中風のアイネヤをいやしたことから、多くの者が信仰に導かれた。この町は元来ベニヤミン人エルパアルの子らが建てたものの一つで、捕囚地から帰還した人々の居住地にも数え上げられる。紀元前150年頃、一時はサマリヤに含められたが、一般にはユダヤ領と見なされた。かなり早い時期からクリスチャンの群が存在した比較的大きな町である。

■**シャロン(Saron)** 新約では、ペテロの宣教活動の報告の中で「ルダとシャロンに住む人々は……」と記述されている。この「シャロン」は、シャロン地方を指し、ルダはその南端の町である。

●ポイント3. 主イエスによる中風の人をいやしとは？

※マルコの福音書2章1節～12節「カペナウムの家」(新約p.67下段)

※ヨハネの福音書14章12節～14節「主の約束から」(新約p.214上段)

14:12「まことに、まことに、あなたがたに言います。私を信じる者は、私が行うわざを行い、さらに大きなわざを行います。私が父のもとに行くからです。

14:13 また私は、あなたがたが私の名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。

14:14 あなたがたが、私の名によって何かを私に求めるなら、私がそれをしてあげます。」

◎先週のメッセージの概要【エルサレムに着いて】

《ルカは、「かなりの日数がたち」と書き記していますが、このことについて、後にパウロは、ガリラヤ書簡において、このように証しています。『私は使徒となった人たちに会う為にエルサレムに上ることもせず、すぐにアラビアに出て行き、再びダマスコに戻りました。それから三年後に、私はケファを訪ねてエルサレムに上り、彼のもとに十五日間滞在しました。』と。ここから、「かなりの日数」とは、三年であることが分かります。

サウロはアラビアに退き、旧約聖書を最初から調べ直して、主イエスこそメシアであることを確信したと伝えられています。そして再びダマスコに戻り、そこで新たに弟子たちが与えられ、そんな時に事件が起こります。

アレタ王の代官とユダヤ人たちが、結託してサウロを殺害しようと企てたのです。幸いサウロは弟子たちによって、城壁の窓から、かごに乗せられ脱出します。それからエルサレムに向かったのです。すでに三年もの月日が経っていますが、それでもサウロはエルサレムの信徒たちからは、信用されずまた恐れられていました。しかしダマスコにアナニアが存在したように、エルサレムにも主は助け人として、バルナバを用意されていたのです。バルナバとは、ニックネームであって、「慰めの子」と言う意味です。本名はヨセフです。伝承では、主イエスが派遣した72人の弟子の中の一人であり、またイスカリオテのユダの代わりに使徒を補充するさいに、マッテアとくじを引くことになったバルサバこそが、バルナバであったということです。彼は二度において、使徒に選ばれず大きな挫折を味わうこととなります。試練を経験し砕かれた者にしか、実は人々を慰めることが出来ないのです。バルナバは、誰からも相手にされなかったサウロを引き受けます。あなたが今まで経験して来たことは、何一つ無駄ではないのです。それは、とてもつらく、また苦しいことであったかも知れませんが、主イエス様が慰めて下さいます。このお方だけが唯一の救い主です。そして私たちも、人々を慰め、勇気づけることが出来るのです。》

◎お知らせ

※次回主日礼拝は7月4日(日)教会にて通常とおりに行ないます。聖書勉強会・祈り会は6月30日(水)各家庭にて行ないます。